

福井県感染症発生動向調査速報

<<平成16年>>

<週報> 第32週 (平成16年8月2日～8月8日)

発行日：平成16年8月10日

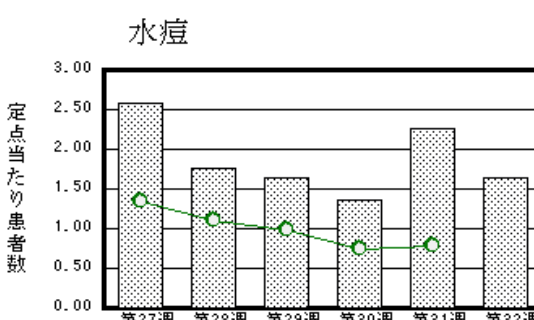
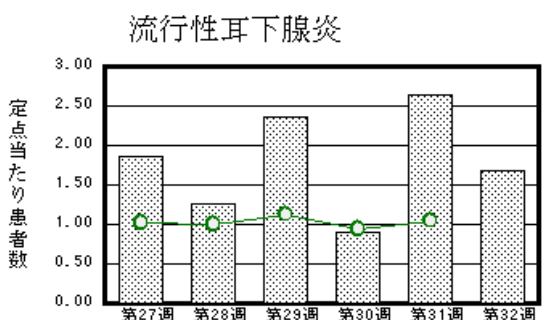
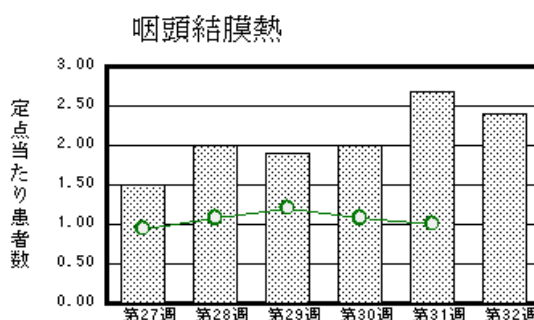
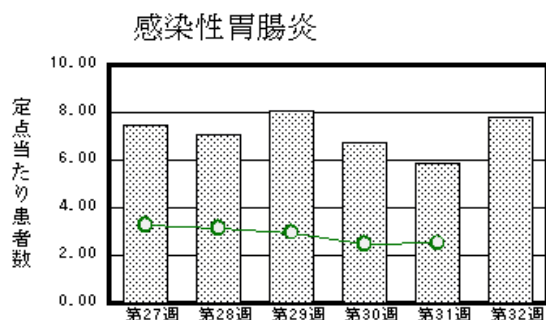
発行：福井県福祉環境部健康増進課

福井県衛生環境研究センター

kansen@erc.pref.fukui.jp

注目疾患の動向

1. 【今週の上位5疾患】 感染性胃腸炎171名(7.77名) 咽頭結膜熱53名(2.41名) 流行性耳下腺炎37名(1.68名) 水痘36名(1.64名) 手足口病35名(1.59名) ()内は定点当たり人数
2. 【報告数の多い疾患】 感染性胃腸炎(171名) 咽頭結膜熱(53名) 流行性耳下腺炎(37名) 水痘(36名) 手足口病(35名) ヘルパンギーナ(33名)
3. 【感染性胃腸炎】報告数は171名です。定点あたり患者報告数は増加しました(5.86名 7.77名)。地域別にみると福井地区14.7名、坂井地区7.3名、奥越地区4.5名の順となっています。
4. 【咽頭結膜熱】報告数は53名です。定点あたり患者報告数は減少しました(2.68名 2.41名)。地域別にみると丹南地区5.6名、坂井地区2.3名、福井地区2.3名の順となっています。
5. 【流行性耳下腺炎】報告数は37名です。定点あたり患者報告数は減少しました(2.64名 1.68名)。地域別にみると二州地区5.3名、奥越地区2.5名、福井地区1.9名の順となっています。
6. 【水痘】報告数は36名です。定点あたり患者報告数は減少しました(2.27名 1.64名)。地域別にみると奥越地区4.0名、二州地区3.7名、福井地区1.4名の順となっています。



棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

感染症週報全国版の要点

2004年第30週号(7月19日～7月25日)要点

発生動向総覧	<第30週> 咽頭結膜熱一定点あたり報告数は第25週には過去10年間の全ての週と比較して最高値となり、その後第29週まで最高値を更新し続けたが、第30週は減少した/その他最新動向
注目すべき感染症	<腸管出血性大腸菌感染症> 2004年に入って初めての死亡例の報告があった
病原体情報	咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2004年/ヘルパンギーナ患者から分離されているウイルス 2004年/ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2004年
速報	アデノウイルス11型による集団発生事例ー千葉県
海外感染症情報	ヨーロッパにおけるダニ媒介性脳炎: 国別の基本情報
感染症の話	<今週はお休みです>

詳細は国立感染症研究所感染症情報センターのホームページをご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

全数届出の感染症(福井県)

疾病名	腸管出血性大腸菌感染症(3類感染症)			
患者	男児 1名	女児 1名	既届出患者接触者 1名	既届出患者接触者 3名
主な症状	下痢、血便、腹痛	発熱、腹痛、下痢、血便	軟便	症状なし(無症状病原体保有者)
感染原因・感染経路	調査中			
平成16年 福井県	有症者17人、無症者8人(第32週:8月8日現在)			
届出累計 全国	1,668人(第31週:8月1日現在)			
平成15年同時期届出累計	有症者10人、無症者7人(第32週)			

このほか、細菌性赤痢(2類感染症)の報告が1件、5類感染症[全数把握対象疾患]の報告が1件ありました。

福井県感染症発生動向調査

[定点報告:5類感染症(週報分)] 平成16年 第32週 平成16年8月2日(月)~平成16年8月8日(日)

定点種別(定点数)	保健所 病名	福井	坂井	二州	若狭	奥越	丹南	計	前週	全国(31週)
インフルエンザ(32)	インフルエンザ (高病原性鳥インフルエンザを除く)									14 0.00
小児科 (22)	RSウイルス感染症									15(30週)
	咽頭結膜熱	16 2.29	7 2.33	1 0.33		1 0.5	28 5.6	53 2.41	59 2.68	3070 1.01
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6 0.86	2 0.67				1 0.2	9 0.41	10 0.45	1981 0.65
	感染性胃腸炎	103 14.71	22 7.33	13 4.33	3 1.5	9 4.5	21 4.2	171 7.77	129 5.86	7641 2.51
	水痘	10 1.43		11 3.67	2 1	8 4	5 1	36 1.64	50 2.27	2408 0.79
	手足口病	14 2.00				7 3.5	14 2.8	35 1.59	32 1.45	3965 1.30
	伝染性紅斑	4 0.57		1 0.33		1 0.5	1 0.2	7 0.32	4 0.18	801 0.26
	突発性発しん	7 1.00				2 1	9 1.8	18 0.82	15 0.68	2563 0.84
	百日咳									52 0.02
	風しん								1 0.05	30 0.01
	ヘルパンギーナ	7 1.00	3 1.00	12 4	7 3.5		4 0.8	33 1.50	29 1.32	7468 2.46
	麻しん(成人麻しんを除く)									26 0.01
流行性耳下腺炎	13 1.86		16 5.33		5 2.5	3 0.6	37 1.68	58 2.64	3193 1.05	
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									21 0.03
	流行性角結膜炎	1 0.50						1 0.33		643 1.01
基幹 (6)	細菌性髄膜炎								1 0.17	9 0.02
	無菌性髄膜炎	2 1.00						2 0.33		63 0.13
	マイコプラズマ肺炎									94 0.20
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)									5 0.01
	成人麻しん									2 0.00

インフルエンザは、小児科定点+内科定点

細字は定点当たり患者数

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患。全国の集計は第30週分である。

福井県感染症発生動向調査(定点報告:5類感染症)

平成16年第32週 平成16年8月2日(月)～平成16年8月8日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエンザ(高病原性 鳥インフル エンザを除く)	小児科 定点	RSウ イルス 感染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	風しん	ヘルパ ンギー ナ	麻しん (成人 麻しん を除く)	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除 く)	成人麻し ん	
6ヶ月未満		6ヶ月未満		1		8	3			1			2			6ヶ月未満								
12ヶ月未満		12ヶ月未満		2		12	3	3		9			2		1	12ヶ月未満								
1歳		1歳		10		26	5	12	1	8			6	2	1歳									
2歳		2歳		2		22	10	7	1				7	6	2歳									
3歳		3歳		7	2	15	7	2						6	3歳									
4歳		4歳		14	3	12	4	4	1				6	10	4歳					1				
5歳		5歳		10	1	11		5	2				3	8	5歳									
6歳		6歳		3		12		1					1	4	6歳									
7歳		7歳		2		8	1	1	2				1		7歳									
8歳		8歳				4	1						1		8歳									
9歳		9歳			2	7	1						1		9歳									
10～14歳		10～14歳		2	1	15	1						1		10～14歳					1				
15～19歳		15～19歳				2									15～19歳									
20～29歳		20歳以上				17							2		20～29歳									
30～39歳															30～39歳		1							
40～49歳															40～49歳									
50～59歳															50～59歳									
60～69歳															60～69歳									
70～79歳															70歳以上									
80歳以上																								
合計		合計	0	53	9	171	36	35	7	18			33	37	合計		1			2				
前期計		前期計	0	59	10	129	50	32	4	15		1	29	58	前期計				1					
当期間/前期	***	当期間/前期	***	0.9	0.9	1.33	0.72	1.09	1.75	1.2	***	0	1.14	***	0.64	当期間/前期	***	***	0	***	***	***	***	***
増減数		増減数		-6	-1	42	-14	3	3	3		-1	4	-21	増減数		1		-1	2				

(注) 印は、平成15年11月5日以降届出対象疾患

***は前期計が"0"のとき

